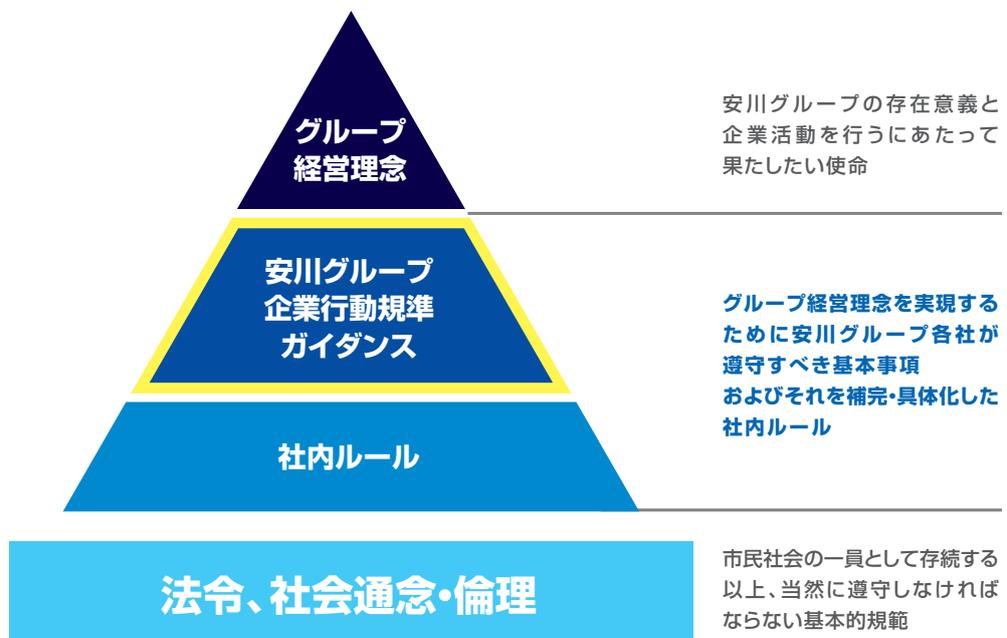


## 1. グループ経営理念

当社グループの使命は、その事業の遂行を通じて広く社会の発展、人類の福祉に貢献することにある。当社グループはこの使命達成のために、次の3項目を掲げ、その実現に努力する。

1. 品質重視の考えに立ち、常に世界に誇る技術を開発、向上させること。
2. 経営効率の向上に努め、企業の存続と発展に必要な利益を確保すること。
3. 市場志向の精神に従い、そのニーズにこたえるとともに需要家への奉仕に徹すること。

## 2. グループ経営理念と安川グループ企業行動規準等との関係



安川グループ<sup>※1</sup>は、グループ経営理念を共同で実現する企業集団です。

安川グループが企業集団として継続的に存続・成長し、グループ経営理念を実現するためには、法令、社会通念・倫理の遵守を当然の前提として、グループ経営理念を実現するためにグループ各社が遵守すべき基本事項である「安川グループ企業行動規準」<sup>※2</sup>を遵守することが不可欠です。また、グループの役員・従業員である私たち一人ひとりも、「安川グループ企業行動規準」を実践するために、「私たちの遵守事項」<sup>※3</sup>を、それぞれ遵守しなければなりません。

※1 本ガイダンスにおいては、安川電機およびその国内外の連結子会社の総称をいいます。以下「安川グループ」または単に「グループ」といいます。

※2 したがって、グループ各社は、「安川グループ企業行動規準」または「私たちの遵守事項」の内容を変更する場合は、予め安川電機の承諾を得なければならないものとします。

※3 グループの全役員・従業員がコンプライアンスの実践をするための規準をいいます。

### 3. コンプライアンスとは

---

安川グループにおける「コンプライアンス」とは、安川グループが事業を遂行するにあたり、全ての法令、社会通念・倫理はもとより、「安川グループ企業行動規準」、「私たちの遵守事項」、社内ルール、そしてグループ経営理念に適った誠実性ある行動を意味します。

### 4. 役員・管理職の義務

---

- 全ての役員は、経営環境の変化や社会の要請を常に把握しコンプライアンス体制の整備を行うとともに、コンプライアンスの実践にリーダーシップを発揮しなければなりません。
- 自社の役員・従業員がコンプライアンスを実践しているか定期的に点検し、違反行為の防止に努めなければなりません。
- コンプライアンスに違反する事態が発生した場合には、速やかに自社のコンプライアンス責任者、または必要に応じて安川電機のコンプライアンス担当役員と協議し、適切な措置を実施しなければなりません。
- 全ての管理職は、コンプライアンスの実践および教育・浸透・周知徹底を図り、また、部下からの相談に真摯に対応しなければなりません。

### 5. 従業員の義務

---

- 全ての従業員は、コンプライアンスを実践するために、「安川グループ企業行動規準」および「私たちの遵守事項」を読んで理解した上で、日々の業務を行わなければなりません。従業員の一人ひとりが、「私たちの遵守事項」に従い、自覚を持って誠実に行動することが、安川グループに対する社会からの信頼向上につながります。

### 6. 例外なき実践 (ZERO-TOLERANCE POLICY)

---

- 全役員・従業員は、他の役員・従業員にコンプライアンスに反する行為を指示し、または他の役員・従業員による違反行為を黙認してはなりません。
- コンプライアンス上の問題または疑問が発生した場合には、上司や相談窓口等に相談して解決を図らなければなりません。
- 法令、社会通念・倫理、社内ルールまたは「安川グループ企業行動規準」もしくは「私たちの遵守事項」の不知や、会社の利益を図る目的で行ったことは、いずれもコンプライアンス違反の免責理由とはなりません。
- コンプライアンスに反する行為をした場合、違反の内容、影響度、態様等を勘案の上、グループ各社の社内ルールに則って懲戒処分がなされる場合があります。